

質疑・一般質問

6月14日、15日、16日の本会議では、21人の議員が登壇し、新型コロナウイルスワクチン接種などについて市の見解を求めました。また、16日には追加提案された議案について質疑を行いました。

発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、QRコードを読み取ると本会議の録画映像がご覧いただけます。



発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

- 6月14日・15日・16日
- 三好 宏** (自民党 真誠会・代表質問)
 ①泉市長の政令市移行を目指す発言 ②工場立地法に基づく緑地面積率の緩和 ③第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会 ④コロナ禍におけるごみ処理の諸問題
- 梅田 宏希** (公明党)
 ①新型コロナウイルスワクチン接種 ②新型コロナウイルス禍の諸課題
- 竹内 きよ子** (明石かがやきネット)
 ①新型コロナウイルスワクチン接種事業 ②大久保駅南地区JT跡地の開発計画 ③新型コロナウイルスの教育現場において子供たちがのびのびと学校生活を送ることができる環境整備 ④不妊治療にかかる費用の助成
- 井藤 圭順** (自民党 真誠会)
 ①本市のおむつ事業 ②給食運営事業費 ③社会貢献活動の推進
- 尾倉 あき子** (公明党)
 ①緊急事態宣言再延長に伴う地域経済への影響と支援 ②マイナンバーカードの交付状況と今後の取組
- 吉田 秀夫** (明石かがやきネット)
 ①本市の人事行政 ②本市の人口動態 ③コロナ禍で困窮する子供・保護者への支援 ④新型コロナウイルス感染症対策
- 灰野 修平** (自民党 真誠会)
 ①コロナ禍における市政の現状と影響及び今後の対策 ②学校での防災教育
- 佐々木 敏** (公明党)
 ①GIGAスクール構想による電磁波被ばくとブルーライト対策 ②他の自治体の優れた施策を学び実行を
- 林 丸美** (明石かがやきネット)
 ①学校給食と市民の食を支える持続可能な農業の促進
- 林 健太** (自民党 真誠会)
 ①コロナ禍における選挙 ②新型コロナウイルス感染症に関する国の支援策の広報
- 松井 久美子** (公明党)
 ①コロナ禍における高齢者の健康維持と健康長寿社会の構築を ②生理用品サポート事業「きんもくせいプロジェクト」 ③SDGs(持続可能な開発目標)推進に向けた取組
- 寺井 吉広** (自民党 真誠会)
 ①コロナショック下での明石ブランドへの支援 ②海岸・沿岸の保全と活用
- 飯田 伸子** (公明党)
 ①アスベストによる健康被害者の救済に向けた本市の取組
- 千住 啓介** (自民党 真誠会)
 ①新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金 ②こどもを核としたまちづくりを行ってきた泉市長の家族観 ③兵庫県知事選挙立候補予定者に対する公開質問状
- 楠本 美紀** (日本共産党)
 ①生理の貧困 ②子供たちが安心して過ごせる保育所に ③新型コロナウイルス感染症ワクチン接種
- 森 勝子** (維新の会)
 ①コロナ禍における泉市長の言動 ②西明石駅の再整備 ③動物殺処分ゼロに向けた取組
- 家根谷 敦子** (スマイル会)
 ①障害者へのさらなる支援
- 宮坂 祐太** (フォーラム明石)
 ①福祉事業所における人材の確保及び育成 ②公共工事の施工時期の準準化
- 丸谷 聡子** (かけはしSDGs)
 ①大久保北部の里山をはじめとする明石の緑のあり方 ②重層的支援体制整備事業 ③ヤングケアラーへの支援 ④新型コロナウイルス接種のリスク管理
- 辻 達也** (日本共産党)
 ①明石市「有言実行」プラン ②明石クリーンセンターの管理・運営 ③スクールガード ④水防体制とワクチン接種
- 北川 貴則** (維新の会)
 ①コロナに負けない生活支援と福祉の充実 ②「安全なまち明石」の実現のための危機管理 ③地球にやさしい取組
- 6月16日
辻 達也 (日本共産党)
 ①議案第67号 調停の成立のこと

工場緑地面積率の緩和 検討会開催と市民意見募集 早期の条例提案を目指す

問 工場立地法に基づく緑地面積率の緩和について、現状と今後の取組

答 本市は、学識経験者、経済団体、環境団体、市民・地域の代表で構成する明石市工場緑地のあり方検討会を設置し、緑地面積率の緩和による効果、地球温暖化防止や防災面など、緑地の持つ多面的な機能に加え、企業による地域貢献の取り組みなど、幅広い視点



昨年12月に設置された検討会

り組みを聞く。また、工場の緑地について行った市民意見募集では、生活環境への影響を懸念して緩和

に反対する意見や、生産効率の向上に向けた工場の建て替え等を進めるため早期の緩和を求める意見など、約600件の意見があった。

あかし支え合い基金 1億2千万円をコロナ関連支援に 十分な協議なく積み立て前に活用

問 新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金に積み立てるとして募集した寄付金が積み立てられずに活用された。事前に議会と協議すべきでなかったか。

答 自治体の財政制度上、基金とは当年度の収入の一部を次年度以降の財源とする場合に積み立てる制度であり、当

議すべきでなかったか。基金とは当年度の収入の一部を次年度以降の財源とする場合に積み立てる制度であり、当年度の収入を同年度中に活用する場合は通常、積み立ては行わない。積み立てると、基金を取り崩す予算の議決が必要となる。なお、令和2年度中の寄付金総額は、1億8130万円であり、そのうちの1億2千万円を同年度に行った医療体制の充

実や市民生活の支援、感染拡大の防止等の事業に活用し、残りの6130万円は3年3月末に基金に積み立て、3年度以降のコロナ対策事業の財源とした。今後の基金の積み立てと活用方法などについては、事前に議会と協議していきたい。

各種計画の策定に遅れ ワクチン接種への職員配置が影響

民間委託拡大や臨時職員を配置

問 新型コロナウイルス感染症対策に伴う職員の異動により、通常業務や各種計画の策定に影響が出ている。現状と今後の対策を問う。

答 ワクチン接種を安全かつ確実に実施するため、コロナワクチン対

策室に4人が異動、22人が事務に従事し、各

生活に直結する上下水道やごみ収集、各種窓口業務などは体制を堅持し、各種計画の策定

には、スケジュールの変更や見直しを行う予定だ。

今後は、集団接種業務への民間委託の拡大や臨時職員に置き換えることにより、正規職員を各所属に復帰させ、通常業務への影響を早期に解消させたい。

政令市への移行

まずは医療や教育の権限を 市民サービスの充実へ

問 政令市への移行やさらに県からの権限移譲を求める本市の目的は、平成30年の中核市移行に伴い本市では、保健所や動物センター、こどもセンターを開設するなど、すでに政令市に近い業務を行って

いる。市民サービスの充実を図るためには、さらなる権限を持つことが望ましいと考えるが、政令市への移行は法改正が必要のため、まずは県に医療と教育に関する権限移譲を求めている。



市民のためにさらなる権限を

権限が移譲された場合は、コロナ禍の医療体制を充実させるほか、障害者や高齢者に対する医療的ケアを手厚くしたい。

教育面では、教職員の人事権

コロナ禍の選挙 期日前投票をPR 混雑を回避

問 県知事選挙投票所での新型コロナウイルス感染症防止対策と新型コロナウイルスに感染し、入院や自宅等で療養している人への投票機会の確保について聞く。

答 投票所では、消毒用アルコールや飛沫防止シートを設置し、記載台や筆記用具の定期的な消毒と換気を行う。また、投票当日の混雑を回避するため、期

日前投票所を市内7カ所に開設し、ホームページやSNSなどでも有権者に対して期日前投票の積極的な利用を呼び掛ける。

新型コロナウイルスに感染し、自宅等で療養する人の郵便投票を認める法律が成立すると、このたびの県知事選挙からの適用となる。その際には感染者の投票機会の確保について関係機関と連携し、適切に対応していく。

まずは有権者が安心して投票できる環境を整え、投票率の向上につなげたい。